

ブランドマネジメント支援業務仕様書

1 委託業務名

ブランドマネジメント支援業務

2 業務目的

観音寺市には、古くから紡いできた歴史、気候や地形によりもたらされる産品など多くの資源を有しているが、現状では、そのポテンシャルを十分に発揮できていない。

本業務は、それら資源を調査することに加え、本市が募集した市内事業者を対象とした講義・グループワークにより商品の開発からマーケティング戦略までを見据えた立案・支援を行うことで、稼ぐ力を強化するとともに、市内事業者が主体的に検討・実行することで、市全体に効果を波及させ、本市地域産品の「知名度向上」を図ることを目的とする。

3 委託期間

契約日から令和10年3月31日

4 業務内容

(1) 対象事項

ア 地域産品ブランディングに向けた資源調査

本市の現状を把握するため、統計データや文献などのほか、現地や関係者から情報収集し、その調査結果を以降の商品開発やブランディングに向けた報告書として取りまとめる。

調査対象については、次のとおりとする。

- ・ 食材（農畜水産物等、季節性など）
- ・ 文化（食文化・料理に関すること）
- ・ 流通（供給量など）
- ・ その他商品開発に向けて受託者の提案により必要な対象

イ 地域産品ブランディング（商品開発）支援

本市が計画する地域産品ブランディングロードマップ（案）（別添）に基づき、市内事業者が主体的に関与し、魅力的な商品開発を実現するための支援を行なうとともに、今後も継続的に商品開発を行う機運が醸成されるよう、次の業務を実施する。

(ア) 開発商品の目的とビジョンの整理

様々な分析により観音寺市の現状や有している資源・魅力を明確化し、開発商品の目的とビジョンを講義・グループワークにより市内事業者とともに整理する

(イ) 商品ブランドコンセプト及び特徴の定義

整理した目的とビジョンを踏まえ、ミッション・ビジョン・バリューの設定や顧客動向などから、講義・グループワークにより商品ブランドコンセプトの定義と特徴を明確にする

(ウ) 調査した特産品の評価と開発アイテムの立案

明確にした商品ブランドコンセプトから、講義・グループワークにより活用する食材や加工方法等を検討し、開発アイテムを立案する

(エ) ブランディング戦略の策定

セグメンテーションやターゲティング、ポジショニングを通して、講義・グループワークによりブランドアイデンティティ・ブランドメッセージを含めたブランディング戦略を策定する

(オ) 商品生産と供給チェーンの策定

講義・グループワークにより商品を試作し、4P分析を踏まえた評価を行うとともに、供給チェーンの調査を実施する

(カ) 商品のマーケティング戦略の策定

カスタマージャーニーや4C分析を踏まえ、講義・グループワークによりネーミングやパッケージなどマーケティング戦略を策定する

(キ) プロダクトローンチとプロモーションの検討

講義・グループワークによりプロダクトローンチのためのストーリーブランドやPR動画などを作成するための方針や方向性を検討する

ウ その他受託者の提案により実施する業務

本市のブランドマネジメントを支援するため、受託者の実績を活かした提案に基づき業務を実施する

(2) 実施方法

ア 観音寺市への訪問

観音寺市に訪問（全26回程度）し、現地調査や講義・ワークショップを実施

イ メール、電話等での対応

随時、メール、電話等による問い合わせに対応

5 納品物

ア 資源調査報告書（データにより提出）

イ 講義・ワークショップに関する資料等（データもしくは印刷物による提出）

ウ 提案・助言等で必要な資料等（データもしくは印刷物による提出）

6 その他

(1) 本業務の実施に関しては、本仕様書及び観音寺市契約規則ほか関係法令等を遵守して行うこと。

(2) 本仕様書に定めのない事項については両者協議のうえ決定する。